街　道	中　山　道	調査地域	岐阜県中津川市～長野県塩尻市	縮　尺	1／25,000	0 500 1000 1500 2000	N	NO .7

ゾーン名：義仲と関所越えの道

市町村名：木曽福島町　／　日義村

位　置　図

凡　例

街道（車両通行可能）	一般国道（直轄）	「歩こう木曽路」ルート	既設木曽広域案内板	既設案内板	既設ベンチ	既設パーキング	鉄道駅	
街道（車両通行不可）	一般国道（直轄以外）	中部北陸自然歩道	既設宿案内板	新設コース案内板	道の駅	既設トイレ	温　泉	
街道消滅区間	J　R	市 町 村 境	インフォメーション	既設誘導サイン	資料館	分岐案内（自然歩道と共有）	分岐案内（歩こう木曽路・単独	分岐案内（自然歩道・単独
史 跡 位 置	バ ス 停	県　境						

みどころガイド

観光地・文化施設

福島関所資料館

木曽川を見下ろす高台にある関所。現在では国の史跡に指定されている。史跡の横に関所の建物が復元され、資料館となっている。

中山道（木曽街道）の主な史跡

高瀬家藤村資料館

福島関所に隣接する高瀬家は関守の山村代官に仕えた家。また島崎藤村の姉「園」が嫁いだところでもあり、小説「家」のモデルになった。資料館には、藤村関係の資料などが展示されている。

興禅寺宝物殿

木曽代官山村家の菩提寺である興禅寺には、山村家に伝わる重要な古文書、陶器、漆器、軸類などが保存されており、それらを展示し公開している。また、境内には枯山水の庭園「看雲庭」、木曽義仲の墓がある。

山村代官屋敷跡

大手町の福島小学校が建つ場所である。尾張藩の木曽代官であった山村氏の屋敷跡で、文政年間の屋敷図によって壮大な屋敷構えが伺える。

上の段の町並み

江戸時代からの古い町並を色濃くとどめている坂道の町「上の段」。宿場町特有の形態を備えた「枡形」や高札場跡、宿場時代の袖卯建をつけた町屋、なまこ塗りの土蔵が建ち並び、坂を上りつめたところに古風な水場があり、豊富な水が道まであふれている。

※掲載の温泉は木曽地区温泉協会パンフレットによる